

令和元(2019)年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	千葉大学		
プログラム名称	アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文学教育プログラム		
プログラム責任者	山田 賢	プログラムコーディネーター	米村 千代

[採択理由]

グローバルな危機に対処するための「グローバル関係学」を「グローバル関係融合研究センター」としてセンター化した千葉大学の研究の蓄積と強みを生かして、アジアユーラシアを焦点に、アジアユーラシア研究で特徴を持つ国内4大学と連携し、人文学を中心として構想された稀少かつ意欲的なプログラムであり、人文学的な知の在り方の内在的革新を提起している。

「データとして現れる巨大な社会潮流をデータサイエンスの技法によって鳥瞰的に把握する」という俯瞰的な「遠読」的手法と、対象地域に密着した従来型の精緻な史資料分析や社会調査による微視的な「精読」的手法を組み合わせ、対象としてのアジアユーラシア研究と、社会調査統計分析・多言語対応テキストマイニング・GIS（地理情報システム）を3つの柱とする方法としての「Digital Humanities 2.0」をマッチングさせようというコンセプトは明解である。

大学間の連携、人文科学を社会実装するための「臨床人文学」をはじめとして、具体性のある斬新なアイデアを多く含んでいる。必修科目・必修選択科目群のコア科目については、遠隔授業の実施によって、千葉大学・岡山大学・長崎大学・熊本大学・総合研究大学院大学の5大学の学生が同時に受講できるように配慮されており、さらに、これらの5大学と国立歴史民俗博物館がそれぞれの強みを生かして連携するという点も極めて興味深い。また、千葉大学の東南アジア拠点、東アジア中国拠点、ロシア拠点を有機的に結び付けようとしている点も評価し得る。

今後も他大学院等に連携のネットワークを拡張していくようなプログラムとして構想されており、当初の5大学の間での連携に留まらず、全国の人文・社会科学分野の大学院に波及していくことを期待したい。